平成30年度 事務事業マネジメントシート

事第	業名	中小企業	会計 款 項 目 大事 小事 01 07 01 02 01 52		
政	策	05	5節 賑わいと活気に満ちた流山(産業の振興) 主	管課 商	L振興課
施	策	5-1	商業の拠点づくりと地域密着型サービスの強化 主管	管課長 渋谷	♀ 俊之

「 事務事業の日的・内容

	サルル							
事業目的	対象	市内店舗・工場・事業所・ 営業所を有する法人及び個 意図 市内中小企業者に資金融資を行い、経営の安定に貢献する。 人						
事業	内容	市内中小企業の経営安定のため、市内の金融機関を通じ資金融資を行い、市内中小企業の経営の健全化を図る。						
事業別の状況	Eまで	まて 県寺ぐも様々な融貨制度か設けられ、連転貨金、設備貨金などの栓呂貨金を必要とする中小企 *** *						

I	事	務	事業の実	績・現状及で	び成果を	表す指	標の動き	-ع		-の状況
			名	称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式(成果指標の場合)
		1	資金融資に が図られた	より経営安定 :企業数	48	35	32	社	111	実績より
		2	申請件数		49	40	34	社	111	
指标	票	3	運用率		56. 60	47. 10	42. 60	%	111	貸付残額÷総融資枠
		4								
		⑤								
		6								
指標で表すこ とができない 定性的な成果									基づく 融資	二対する現状 (客観的事実・データに 現在の状況や取組状況)
事務	务事	⋾業の	コスト	平成28年度	平成2	.9年度	平成30年度			工基づき、市の預託金を設定して ・ トル和男人 やすい 副変制 席の
事務事	事業	の総コ	1スト(a=b+c)	131, 040, 76	6 131, 016, 943		130, 991, 134		体築⊄	ぶ、より利用しやすい融資制度の つため、融資の種類、融資限度額
Ę	_	費(130, 011, 01	6 130,	010, 143			の拡大	て等を行ってきた。
	_		·般財源	130, 011, 01	_	010, 143			今後	後も景気の動向に注視しながら融 変を運用していきたい。
I			費(c)(円)	1, 029, 75	_	006, 800		, 800	更削ら	とを連用しているだい。
人役・			職員(人)	0.1	5	0. 15		0. 15		
			再任用(人)							
	Ľ	1121	臨職(人)							
		人役•嘱託(人)			<u> </u>					
	初期投資コスト(円)(建設又は取得年度のみ記入)				-					
想定耐用年数(年)(建設又は取得年度のみま				F度のみ記2						

Ⅲ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

-	(<u>r</u>) <u>-</u> 101								
			今後の必要性	B V	必要性は変わらな	有効性	目標達成度	A	達成できた
	個別評価	必要性	市関与の必要性	٨	市が担うべき		対象者の適切性	Α	対象者は適切である
			日本学の方面	А	山ル-4百 ノ、、〇	劝华江	効率性 コストの削減 A 削	削減の余地はない	
	総合評価								

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当 初の改善 計画 (Plan)	市融資制度を利用する事業者が減少傾向にあるため、事業者に対し、市融資制度の周知を行う。
実施した	広報、HPは勿論、流山商工会議所及び流山工業団地組合の会議に出席し、 市融資制度の説明を行った。

③取組に おける課 題 (Check)	民間事業者(銀行等)による融資利率 が下がっているため、市融資制度を利 用する事業者が減少している。
④課題に対する今後 (H31~)の 改善計画 (Action)	事業者にとって利用しやすい市融資制 度について、改正等も含め検討する。